農業水利施設の日常管理に係る現地研修会を開催しました

塩谷南那須地域農業水利施設保全管理推進委員会（事務局：塩谷南那須農業振興事務所）では、10 月 22 日（火）、さくら市上河戸地内の取水堰を事例に「農業水利施設の日常管理に係る現地研修会」を開催し、管内市町、土地改良区から 14 名が参加しました。

現地研修では、塩谷南那須農業振興事務所から農業水利施設の日常管理の重要性について説明した後、栃木県土地改良事業団体連合会から、記録表の記入や写真の撮影など、日常点検におけるポイントについて説明を行いました。

さらに、扉体の動作やモーターの稼働の点検方法について実演し、参加者は施設管理の技能を習得しようと作業の様子を熱心に見ていました。

今後も、経年劣化や自然災害による施設の機能低下を防ぎ、持続的に発揮できるようにするため、施設管理者が日常管理の重要性について理解が深まるよう研修を開催していきたいと考えております。

取水堰の点検作業

当事務所の説明

開閉装置の動作確認